

学校だより

# 「磨く」「輝く」「光る」

令和6年 9月13日  
R6 No.13  
佐世保市立愛宕中学校

校 訓： 自主・敬愛・奉仕

学校目標： ふるさを愛し、知性と感性が豊かで活力ある生徒の育成

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 2学期が始まってから >

■8月末の台風により2日間臨時休校となり、9月2日から再スタートとなりました。子供たちは生活リズムを取り戻しつつ、授業や部活動などに励んでいます。また10月18日(金)開催の合唱コンクールに向け、各学級で練習が始まるとともに、10月2日(水)に開催される佐世保市中学校体育大会駅伝競走の練習も大詰め近づいています。そのほかにも、各部活動が新チームとして新人大会などの試合で頑張りを見せています。

■自分がすべきことに対して全力を注ぎ、自分の持てる力のすべてを出して最後までやり遂げる。自分磨きに精一杯取り組んでほしいと願っています。

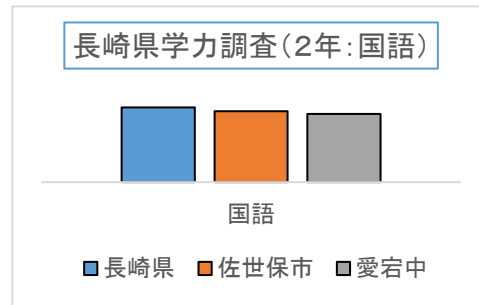


☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 学力調査の結果について >

4月に実施された全国学力・学習状況調査と長崎県学力調査の結果が届きました。以下にその概要についてお知らせします。

### ■■■■ 長崎県学力調査 ■■■■

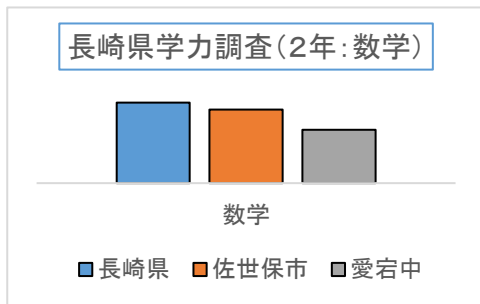


**成 果：**  
領域別にみると、「知識及び技能」「書くこと」「読むこと」の順で県及び市に比べて差が広がっている。「話すこと・聞くこと」が県及び市を上回っていた。

**課 題：**「インタビューの内容を具体的に取り上げて書き、なぜ印象に残ったのか、あなたの考えを書け」という問題で28%の生徒が無回答であった。まずは、日々の授業の中で「自分の考えをまとめ、述べる」訓練をしていくことが課題である。読解力不足からの無回答も考えられる。「漢字や文法の力」「読解力」そして「書く力」を複合的に付ける授業が課題である。**改善策：**10月から「コラム



要約」に取り組み「自分の考えをまとめ、述べる」訓練をする。2週間に一回コラムを提供し、音読で「漢字を読む力」「内容を理解し読解する力」「要約する力」をつけていく。コラムの感想や、意味の分からない語句調べ等にも取り組む。「漢字や文法之力」も家庭学習にしたり日々の授業の中で繰り返し指導したりして力をつけていく。



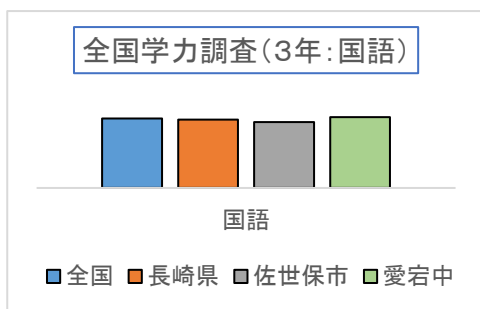
**成果:**  
図形の問題の中でも特に対象移動の問題では、

問われた内容をしっかりと理解して答えていた。

**課題:** 分数を使う計算問題になると正答率が低くなる。また用語の意味が分からないため、求められている計算ができない。長い文章で書かれ、さらに証明や説明を求める問題は無回答が多くなった。

**改善策:** 小学校で学習した分数や小数の四則計算を復習をする。班学習など互いに学びあう学習形態を工夫していく。ワークも併用して学習内容の理解を深める。証明や説明の問題では、穴埋め問題から慣れさせ、徐々に自分でこたえられるようにする。

### ■■■■ 全国学力調査 ■■■■

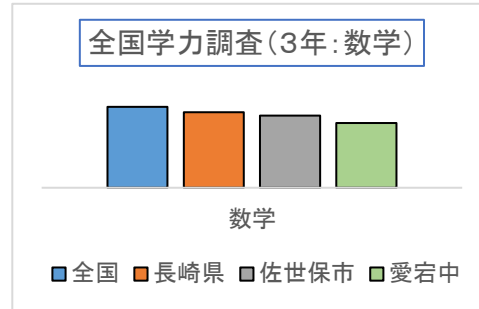


**成果:**  
選択式の問題の正答率が全国平均を上回って

いた。特に言葉の修正や情報の選択の意図、図の役割などを答える問題の正答率が高く、小説においても論説においても作者・筆者の意図に着目させてきた成果が出た。**課題:** 記述式の問題になると正答率が低く、無回答率も記述式などの問題でも高い。

**改善策:** 書くことの練習を数多く行い指導を重ねて

いく。また、指示が複雑な問題や難解な論説文に慣れていくため、扱う文章のレベルを徐々に上げていきたい。



**成果:**  
「2つのグラフにおけるy軸との交点につい

て、事象に即して解釈する」問題や「問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出す」問題は比較的良かった。**課題:** 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」問題、その他にも証明が全般的にできていない。根拠をもとに説明ができること、基本的な用語の意味を理解することが必要です。**改善策:** 関連のある既習事項の復習をする。授業中の学習を工夫し、互いに話し合ったり教え合ったりするグループ活動やペア活動を取り入れる。易しい問題からレベルの高い問題までを含んだ週末課題を準備する。

### ■■■■ 全国学習状況調査 ■■■■

**概要:** ○授業は、自分に合っていると思っている生徒は多い。しかし家庭での学習時間が少なく、基礎基本が定着できていない。○今までの授業をより充実させながら継続しつつ、家庭学習の在り方を見直す。(課題や内容の検討など)○メディアの使用に関するルールを徹底する。○話し合い活動は有効と考えられるため、「話し合いのコツ」を活用し、授業をより充実させる。○タブレットなどのICT機器は学習活動に有効であると生徒は感じていることから、授業で積極的に活用する。

**今後の方向性:** ○本校生徒に身に付けさせたい「伝え合う力」「学びに向かう力」の育成に向けた授業改善を図る。○基本的な語句の理解などを確実なものにしていくために朝の時間を活用した取組を実施する。○家庭学習の習慣づくりのため、ご家庭で話をされ励ましをしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。